

國學院大學学術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001021

彙報

平成二十六年年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈公開研究会〉

- ・第二回共存学公開研究会「平和共存から共同体まで―国際政治学における共存の意味論―」、報告者〓遠藤誠治（成蹊大学教授）、コメンテーター〓磯村早苗（國學院大學教授）、荻田真司（國學院大學教授）、司会〓古沢広祐（國學院大學教授）、平成二十七年三月九日（月）十四時三十分～十七時、AMC棟五階会議室
- 〇六

「渋谷学」グループ

〈公開研究会〉

- ・第二回渋谷学研究会「春の小川を遡る―渋谷川の支流（宇田川水系）の流路を歩く―」、講師〓林和生（國學院大學教授）、平成二十七年三月十四日（土）十四時～十六時三十分

平成二十七年年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター会議

- ・第一回、平成二十七年四月四日（土）十五時～十六時、AMC棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、平成二十七年九月二十五日（金）十五時五十分～十五時三十四分、AMC棟五階会議室〇六

▽研究開発推進センター研究会

- ・第一回、神杉靖嗣（研究開発推進機構共同研究員）「戦前・戦中期の社会状況と星野輝興・弘一の神道学説について」、平成二十七年四月三十日（木）十五時～十七時、AMC棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、東郷茂彦（研究開発推進機構客員研究員）「昭和前期在野右翼の神道・天皇観―神兵隊事件を軸として―」、平成二十七年五月二十一日（木）十八時三十分～二十時、AMC棟五階プロジェクトルーム二
- ・第三回、高野裕基（研究開発推進機構助教）「河野省三の国学研究と神道学形成」、平成二十七年五月二十八日（木）十八時三十分～二十時、AMC棟五階プロジェクトルーム二
- ・第四回、武田幸也（研究開発推進機構助教）「今泉定助と昭和前期の社会」、平成二十七年六月十八日（木）

十八時～二十時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
 ・第五回、河村忠伸（研究開発推進機構共同研究員）「昭和初期に於ける神社行政の課題」、平成二十七年六月二十五日（木）十八時～二十時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究事業「昭和前期の神道と社会」執筆者会議

・平成二十七年第一回執筆者会議、平成二十七年九月八日（火）十三時～二十時、A M C棟五階会議室〇六
 ・平成二十七年第二回執筆者会議、平成二十七年十月三日（土）十三時～二十時、A M C棟五階会議室〇六

▽国際学術交流事業（國學院大學院友神職会奨学資金）

〈アメリカ合衆国・ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所客員研究員派遣〉

・上西亘（研究開発推進機構助教、平成二十七年四月）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈平成二十七年学研究会〉

・第一回、加藤久子（研究開発推進機構ポスドク研究員）「アウシュヴィッツ収容所をめぐる歴史と記憶」と和解と共存の歴史叙述に向けて、その可能性と限界」、平成二十七年五月二十日（水）十六時～十七時三十分、A M C棟五階会議室〇六

・第二回、菅浩二（神道文化学部准教授）「訪問調査報告：朝鮮民主主義人民共和国について」、平成二十七年六月二十六日（金）十五時～十七時、A M C棟五階会議室〇六

・第三回、ダニエル・フリードリック（マックマスター大学）「宗教と過疎問題：人間中心アプローチによる挑戦」、平成二十七年七月三十一日（金）、十六時～十八時、A M C棟五階会議室〇六

〈國學院の学問（共存学）〉各回十時三十分～十二時、二二〇二教室

・第一回、古沢広祐（経済学部教授）「共存への旅立ち：〈地域と世界〉を総合・多面的にみる視点から」、平成二十七年四月八日（水）

・第二回、茂木栄（神道文化学部教授）「東日本大震災にみる自然との共存」、平成二十七年四月十五日（水）
 ・第三回、藤本頼生（神道文化学部准教授）「自然災害との共存―自然災害伝承と神社由緒との関係性」にみ

る―、平成二十七年四月二十二日(水)

・第四回、黒崎浩行(神道文化学部教授)「都市生活における共存と神社の関わり」、平成二十七年四月二十九日(水)

・第五回、黒崎浩行(神道文化学部教授)「宗教を越えた災害支援のネットワーク」、平成二十七年五月十三日(水)

・第六回、菅井益郎(経済学部教授)「飯館村の放射能汚染と遅れた住民避難」、平成二十七年五月二十日(水)

・第七回、松本久史(神道文化学部准教授)「近世国学における「共存」(近世国学や神道思想から見た共存の諸相)」、平成二十七年五月二十七日(水)

・第八回、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)「旧派和歌」「新派和歌」共存の時代―近代短歌の黎明―、平成二十七年六月三日(水)

・第九回、菅浩二(神道文化学部准教授)「「共存の困難さ」を考える―日鮮同祖論と神社、新たなネイション・エスニシティ構築と失敗―」、平成二十七年六月十日(水)

・第十回、高橋克秀(経済学部教授)「グローバル経済における競争と共存―日本・韓国のFTA政策、アジア、ラテンアメリカなど―」、平成二十七年六月十七日(水)

・第十一回、ノルマン・ヘイヴンズ(神道文化学部教授)「文化多様性と共存の行方―欧米の動向をふまえ

て―、平成二十七年六月二十四日(水)

・第十二回、荻田真司(法学部教授)「「共存」の政治的条件」、平成二十七年七月一日(水)

・第十三回、磯村早苗(法学部教授)「グローバル化時代の「共存」と越境的ガバナンス」、平成二十七年七月八日(水)

・第十四回、古沢広祐(経済学部教授)「多様性が織りなすグローバルとローカルの世界動向―共存社会の展望―」、平成二十七年七月十五日(水)

〈出張〉

・古沢広祐(経済学部教授)、筒井裕(帝京大学文学部専任講師)、杉内寛幸(研究開発推進機構研究補助員)、「宮城県石巻市における東日本大震災被災地の復興に関する現地調査」のため、平成二十七年五月二日(土)～五月五日(火)、宮城県石巻市

・古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、ノルマン・ヘイヴンズ(神道文化学部教授)、杉内寛幸(研究開発推進機構研究補助員)、「岩手県陸前高田市における東日本大震災被災地の復興と支援活動に関する現地調査」のため、平成二十七年八月六日(木)～八月九日(日)、岩手県陸前高田市

・黒崎浩行(神道文化学部教授)、杉内寛幸(研究開発

推進機構研究補助員)、「岩手県上閉伊郡大槌町における東日本大震災被災地の復興に関する調査」のため、平成二十七年九月十九日(土)～九月二十二日(火)、岩手県上閉伊郡大槌町

・古沢広祐(経済学部教授)、菅浩二(神道文化学部准教授)、「持続可能な開発に関するサミット参加」のため、平成二十七年九月二十四日(木)～九月二十九日(火)、アメリカ合衆国ニューヨーク

・茂木栄(神道文化学部教授)、高野裕基(研究開発推進機構助教)、杉内寛幸(研究開発推進機構研究補助員)、「岩手県上閉伊郡大槌町における東日本大震災被災地復興に関する聞き取り調査」のため、平成二十七年十一月十八日(水)～十一月十九日(木)、岩手県上閉伊郡大槌町

「渋谷学」グループ

〈研究会・シンポジウム〉

・國學院大學渋谷学研究会ワークショップ「渋谷の記憶を辿る～常磐松界限を歩く～」(主催〓國學院大學渋谷学研究会・國學院大學博物館、共催〓白根記念渋谷区郷土博物館・文学館)、平成二十七年十一月二十一日(土)十三時三十分～十五時三十分、案内人〓飯倉

義之(文学部准教授)、服部比呂美(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員)

・第四回國學院大學渋谷学シンポジウム「渋谷らしさの近未来」、平成二十七年十二月十二日(土)十三時三十分～十六時、百三十周年記念五号館五二〇五教室、第一部「渋谷らしさの構築～東京五輪からTOKYO二〇二〇までの渋谷」、講師〓田原裕子(経済学部教授)「渋谷らしさの構築と変容～若者の街、ファッションの街、ITの街」、大友教史(東急電鉄株式会社)「SHIBUYA 2027～東急グループが描く渋谷再開発のビジョン」、第二部「渋谷の未来…デイスカッションテーマ これからの渋谷らしさのあるべき姿」、パネリスト〓西樹(シブヤ経済新聞編集長)、大友教史(東急電鉄株式会社)、関谷のびこ(フリーカメラマン)、コディネーター〓橋元秀一(経済学部教授)

〈展示〉

・平成二十七年年度ミュージアム連携事業、第四回企画展〈SHIBUYA〉、平成二十七年八月二十二日(土)～九月三十日(水)、國學院大學博物館
・ミュージアムトーク(1)「展示解説」、秋野淳一(研究開発推進機構PD研究員)、平成二十七年九月五日(土)十二時三十分～十三時

・ミュージアムトーク(2)「展示解説」、石井匠(國學院大學博物館学芸員)、平成二十七年九月十二日(土) 十五時三十分〜十六時

・ミュージアムトーク(3)「オリンピック前後の渋谷」、上山和雄(文学部教授)、平成二十七年九月二十六日(土) 十五時三十分〜十六時

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「古事記学」の構築」

〈研究会〉

・第一回、谷口雅博(文学部准教授)「『古事記』の本文校訂⑨「黄泉の国①」、平成二十七年五月二十七日(水) 十四時三十分〜十六時、AMC棟五階会議室〇六

・第二回、谷口雅博(文学部准教授)「『古事記』の本文校訂⑩「黄泉の国②」、平藤喜久子(研究開発推進機構准教授)「冥界の表象」、平成二十七年七月二十二日(水) 十四時三十分〜十六時、AMC棟五階会議室〇六

・第三回、谷口雅博(文学部准教授)「『古事記』の本文校訂⑪「黄泉の国③」、黒澤直道(文学部教授)「ナシ族神話の伝承形態——トンバ經典と『木氏官譜』——」

平成二十七年九月三十日(水) 十五時三十分〜十七時、AMC棟五階会議室〇六

・第四回、溝口優樹(國學院大學大学院特別研究員・研究開発推進機構作業協力者)「『古事記』の時代に関する歴史研究のデータベース作成と内容検討」、平成二十七年十月二十八日(水) 十四時三十分〜十六時、AMC棟五階会議室〇六

・第五回、谷口雅博(文学部准教授)「『古事記』の本文校訂⑫・⑬「みそき①②」、井上隼人(研究開発推進機構ボスドク研究員)・小野諒巳(研究開発推進機構ボスドク研究員)「敷田年治『古事記標注』の翻刻と研究」、平成二十七年十一月十八日(水) 十四時三十分〜十六時、AMC棟五階会議室〇六

〈講演会・シンポジウム〉

・「古事記学」の構築、国際シンポジウム「葬送の神話——東アジアの他界観と『古事記』——」、平成二十八年一月二十三日(土) 十三時三十分〜十七時三十分、AMC棟一階常磐松ホール、基調講演Ⅱ「俄亜(オーヤー)ナシ族の宇宙観とトンバ教儀式「開路」・ドキュメンタリー映像「開路」、講師Ⅱ鮑江(中国社会科学院社会学研究所研究員)、パネリストⅡ立石謙次(東海大学講師)、谷口雅博(文学部准教授)、討議司会

●黒澤直道（文学部教授）

▽外部研究機関との共催研究事業

・首都圏形成史研究会創立二十周年記念シンポジウム「首都と首都圏」（共催●國學院大學渋谷学研究会、後援●地方史研究協議会・関東近世史研究会）、平成二十七年六月六日（土）十三時～十七時三十分、國學院大學百二十周年記念一号館一二〇三教室、挨拶（趣旨説明）●上山和雄（文学部教授）「首都と首都圏の開催にあたって」、発題●大石学（東京学芸大学）「江戸首都論」、吉崎雅規（横浜市歴史博物館）「幕末期の「首都」江戸と外交使節」、老川慶喜（跡見学園女子大学）「鉄道の開通と東京の商品流通」、白石弘之（元東京都公文書館）「東京都制（首都制度）問題の沿革」、梅田定宏（多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校）「大東京」から「大東京空間」へ」、松本洋幸（大正大学）「首都圏計画」の変遷——一九五〇年代まで——

・第十七回神道文化会主催公開講演会「占いと神道文化」（共催●國學院大學研究開発推進センター）、平成二十七年六月二十六日（土）十五時～十七時四十分、百二十周年記念二号館二二〇一教室、講演Ⅰ「おみくじの歴史」、講師●大野出（愛知県立大学准教授）、講

演Ⅱ「占いととは」、講師●加門七海（小説家・エッセイスト）

・明治聖徳記念学会主催公開シンポジウム「祭礼と芸能」（共催●國學院大學研究開発推進センター）、平成二十七年六月二十七日（土）、十三時三十分～十七時、AMC棟一階常磐松ホール、基調講演●山路興造（民俗芸能学会前代表理事）「祭礼と芸能」、発題●福原敏男（武蔵大学教授）「山・鉾・屋台・山車行事——期待されるユネスコ無形文化遺産——」、岸川雅範（神田神社欄宜）「江戸・東京の祭礼文化」、コメント●小島美子（国立歴史民俗博物館名誉教授）、高山茂（成城大学大学院講師）、司会●茂木栄（神道文化学部教授）

・「シカウチ神事シンポジウム」（共催●國學院大學環境教育研究プロジェクト、ポーラ伝統文化振興財団、神道宗教学会、社叢学会、東栄町シカウチ神事調査会、「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」、平成二十七年七月四日（土）、十三時～十六時三十分、百二十周年記念二号館二二〇四教室、基調講演●野本寛一（近畿大学名誉教授）「シカウチ神事と農耕儀礼」、シンポジウム「奥三河のシカウチ神事の本質と諸相」、パネリスト●小林稔（文化庁伝統文化課主任調査官）、佐々木経人（古戸の花太夫、元東栄町教育長）、鈴木

良幸（名古屋大学文学研究科、博士研究員）

・第六回宗教と環境シンポジウム「めぐみへの畏怖と感謝―神道的環境倫理の有効性―」（共催）「宗教・研究者エコイニシアティブ」、「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」、平成二十七年十一月二十八日（土）、十三時～十六時四十分、AMC棟一階常磐松ホール、基調講演Ⅱ櫻井治男（皇學館大学教授）「めぐみ」への畏怖と感謝―神道的環境倫理の有効性―、パネル発表Ⅱ黒崎浩行（神道文化学部教授）「鎮守の森の防災拠点としての見直しと再生可能エネルギー導入」、田中利典（修験本宗総本山金峯山寺長）「自然に善悪はない―修験道の立場から」、古沢広祐（経済学部教授）「エコロジー的世界観と「人・自然・宇宙」曼荼羅―「共存・共生」の視点から人類文明を問う」、モデレーターⅡ石井研士（神道文化学部教授）

▽國學院大學院友神職会總會研究報告会

・半田竜介（國學院大學研究開発推進機構研究補助員）
「近代の埼玉県神職会について」、平成二十七年十月二十一日（水）、百三十周年記念五号館五二〇二教室

▽成果公開

〈刊行物〉

- ・『昭和前期の神道と社会』弘文堂、平成二十八年二月
- ・『古事記学』第二号、平成二十八年二月
- ・『都市民俗研究』第二十一号、平成二十八年二月
- ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第十号、平成二十八年三月
- ・『共存学ブックレット』、平成二十八年三月刊行予定
- ・『渋谷聞きがたり』三、平成二十八年三月刊行予定